

5. その他

- ・減圧弁のフィルター掃除をしてください。(下図参照)
- ・その他のリモコン操作も取扱説明書のとおりに行えることを確認してください。
- ・深夜電力通電制御契約の場合は、試運転終了後直ちに所轄の電力会社へ工事が終わった旨を連絡してタイムスイッチを再度封印してもらってください。
- ・試運転後、お客様への引渡しまで期間がある場合は、取扱説明書に記載の「排水のしかた」にしたがって、タンクの水抜きと循環ポンプの水抜きをしてください。さらに、減圧弁のフィルターも外してフィルターと逆止弁周りの水分を取ってください。冬場、フィルターと逆止弁が凍結し、通水できなくなることがあります。
- ・不具合内容のチェック時には、別冊の取扱説明書「故障かな?と思ったら」(3ページ～8ページ)をご参照ください。
- ・取付浴槽容積は、一般家庭用340Lまでとなります。

お客様への説明

電気温水器の特長について、以下のことをお客様へご説明してください。

電気温水器は、電気代の安い夜間通電時間帯にヒーターでお湯をわかして、タンクに貯めておき、屋間に使うのが基本です。
お湯を使い過ぎた場合には、湯切れする可能性があります。

湯切れした場合にはリモコン表示部に「079」や「089」(コード番号)が表示します。(→取扱説明書7～8ページ)お湯が不足しそうなときやリモコン表示部に「079」や「089」(コード番号)が表示された場合にはわき増しを行ってください。(→取扱説明書39ページ)

1日に使用できるお湯の量は限られています。特に冬場は水温が低くなり、ムダな使い方をしますと湯量不足になり、お湯が使えなくなることがあります。

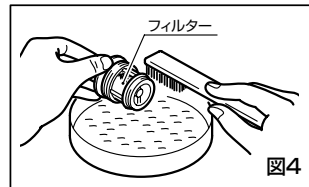
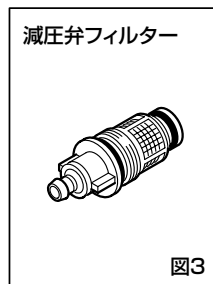
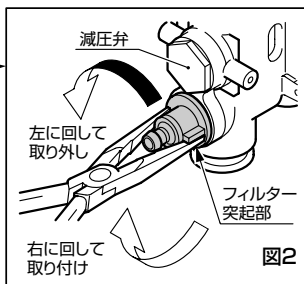
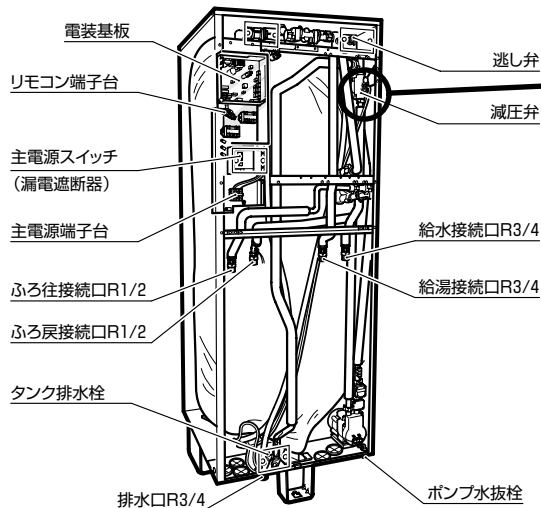
以下の点に注意をしながら、お湯は大切にお使いください。

- お湯は流しっぱなしで使用せず、こまめに止めてください。お湯は容器に受けて使うとムダがなくなります。
- 入浴は、できるだけ夜間通電時間帯を避けてください。夜間通電時間帯にお湯を使うと翌日の湯温が低くなり、湯量不足になる場合があります。
- 浴槽には冷めやすいものもあります。入浴後はふたをしてください。

減圧弁フィルターの掃除

配管内のゴミがフィルターにたまりやすいため、配管接続後の通水試験後、および試運転の後、必ず掃除を行ってください。

- ① 温水器専用の止水栓を閉じます。
- ② 本体の電源スイッチ(主電源)のレバーを「OFF」(切)にします。
補助電源スイッチがある場合は、補助電源スイッチのレバーも「OFF」(切)にしてください。
- ③ 逃し弁のレバーを上げ(逃し弁開)、通水部内の圧力を抜きます。



- ④ 温水器本体内の減圧弁のフィルター部(図3)を手で回し、引き抜きます。
手で回しにくい場合は、図2のように突起部にラジオペンチ等を引っ掛けて回し、引き抜きます。
- ⑤ 図4のように、ブラシ等でフィルター部に付着したゴミを取り除きます。
- ⑥ フィルターを減圧弁に確実に取り付け、水漏れのないことを確認してください。

● 定期点検のおすすめ(有料) ●

本機器は給水用具(逆流防止装置)を内蔵しております。機器を安全・快適にお使いいただくために、(社)日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に基づいて4～6年に1回程度の定期点検をおすすめします。

